

運営評価報告書一次評価の基準について

平成30年度第3回運営評価委員会で決定後、自らの評価である一次評価のうち数値目標である「達成目標」については下記の数値基準に基づき一次評価を行っておりますが、令和2年度事業の評価の際は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した基準に変更することとし、令和3年度第1回会議において報告させていただきます。

なお、この基準は一次評価の際の基準であり、運営評価委員による二次評価は、これまでと同様に各委員の意見等により決定するものとします。

記

1 達成目標の評価基準について

(1) 過去3年度の達成目標の数値等を参考に評価基準を作成

評価基準 (平成22年度から)		数値基準 (実績値/目標値)
すぐれた成果を挙げている。	S	1.2以上
目標を達成している。	A	1.0以上～1.2未満
目標をほぼ達成している。	B	0.9以上～1.0未満
目標にはほど遠い。 より一層の努力を要する。	C	0.7以上～0.9未満
努力が結果に結びついていない。 方法そのものについて再検討を要する。	D	0.7未満
判定不能	F	—

(2) ひとつの評価項目に目標値が複数ある場合、各数値に上記基準を当て、総合的に判断します。

(3) 計算上、最大値をもっても、S評価(1.2以上)にならない場合は、最大値をS評価とします。(例：館内アメニティ90%以上→S基準108%)

2 ひとつの評価項目に目標値が複数ある場合の評価方法について

- ・達成目標の評価項目が複数ある目標は下記のとおりです。

以下の方法で評価を行います。

⑤所蔵作品を充実させ、適切に管理する。

【達成目標】環境調査の実施 (年2回)

美術品評価委員会の開催 (年1回)

[評価方法]

年間の回数については、両目標共に必要に応じた回数であり、特別な事情がない限り、A評価とします。

⑥利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する。

【達成目標】館内アメニティ満足度 90%以上

スタッフ対応の満足度 80%以上

[評価方法]

2つの項目の重要度は同じであるため、達成目標基準を確認し二つのうち達成率の低い方を採用します。

(平成30年度評価実施の場合の例)

項目	目標値 (%)	実績 (%)	達成率
館内アメニティ満足度	90	95.1	1.06
スタッフ対応の満足度	80	88.5	1.11

⑧事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する。

【達成目標】電気使用量、水道使用量、事務用紙使用枚数を直近3年間の平均値を目安とする。

[評価方法]

使用量については、天候（猛暑による電力量増）や観覧者数の増減により大きく変動します。

このため、達成値を参考にしながら、観覧者数の増減等を勘案し総合的に評価を行います。

(参考 平成30年度)

項目	目標値	実績	達成率
電気使用量 (kwh)	2,507,000	2,625,210	0.95
水道使用量 (m3)	4,470	4,635	0.96
事務用紙 (枚数)	241,500	226,500	1.07
達成値率平均 (評価)			0.99